

校長挨拶

東京都立練馬特別支援学校ウェブサイトにお越しいただきありがとうございます。令和4年4月に校長として着任いたしました渡辺裕介と申します。本校がより良い学校となるよう引き続き勤めてまいります。

本校は平成24年に開校した知的障害高等部の特別支援学校です。本校は学校教育目標として（1）仲間を大切にし、思いやりと規範意識のある生徒の育成、（2）社会の中で自立し、社会参加しようとする生徒の育成、（3）主体的に考え行動し、豊かな個性や人間性、社会性をもつ生徒の育成、を掲げています。本校の校章はこぶしの花を図案化したもので、こぶしの花言葉は「友情」、「友愛」、「歓迎」です。本校卒業後社会人となる方も多い本校での3年間で、仲間との友情に満ちたかけがえのない時間となるよう、丁寧な指導・支援を行ってまいります。

生徒の社会参加への意欲を高めるとともに、自ら考え、時には周りの人と相談しながら、自分の生活を豊かにしていくことができる力を身に付けられるように、本校の校訓である「礼節、信頼、知識、心体」を大切にしながら、開校以来積み重ねた実績を踏まえた「キャリア教育」を推進してまいります。

また、令和6年4月1日より全都を通学区域とし全員の企業就労を目標とする職能開発科を設置いたしました。令和6年度第1期生は2学級（1学級10名）です。職能開発科の教育内容の充実はもとより、職能開発科の設置をよい機会として、普通科も含めた教育内容の更なる充実を図ってまいります。

特別支援学校は、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすことが求められておりますが、そのニーズは年々高まってきていると感じております。教員の専門性の向上に努めるとともに、近隣高等学校等と連携し、センター的機能の充実を進めてまいります。

本校における生徒の自立と社会参加に向けた教育活動は、保護者の皆さまや地域、関係機関、外部専門員など様々な方からのご支援、ご協力がなくては、より充実したものとしていくことができません。是非とも本校の教育にお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

これまでの感染症予防の取組を生かしつつ、スマートスクール端末等の活用や働き方改革を推進するなど、社会の変化を的確に捉え、工夫と新たな取り組みを行いながら、本校の教育活動の更なる充実を図ってまいります。本校の教育へのご理解とご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

東京都立練馬特別支援学校

校長 渡辺裕介